歴　史　総　合

（解答番号 101 ～ 116 ）

第１問　歴史総合の授業で，生徒たちが「人々にとっての様々な戦争経験」という主題を設定し，調べたことをまとめた。次の文章**A**・**B**を読み，後の問い（**問１**～**８**）に答えよ。（資料には，省略したり，改めたりしたところがある。）（配点　25）

A　最初の授業では，「近代における軍隊と人々との関係はどのようなものだったのか」という問いを立て，考察した結果を話し合っている。

北　野：フランスでは，フランス革命の際に，徴兵制が導入されました。その後，徴兵制は，プロイセンとの戦争などをきっかけとするナショナリズムの高まりの中で，第三共和政の時代に，数回の法改正を経て，確立していきました。

カーン：プロイセンでは，首相［ ア ］が，1867 年に徴兵制を整備しました。この徴兵制は，1871 年に，ドイツ帝国全体に拡大され，確立していきました。以上から，フランスとドイツの徴兵制が，［ イ ］ことが分かります。

趙　：日本では，西南戦争において，徴兵制に基づく政府軍が編成されました。ただし，士族を徴集するかどうかをめぐって，政府内で論争がありました。**資料１・２**は，これについての岩倉具視と木戸孝允の意見です。結局，士族が臨時に徴集され，9,500 人が派遣されました。

北　野：このように，近代における軍隊と人々は，徴兵制を通じて，深く関係していました。また，各国はその軍隊を用いて，植民地獲得や利権確保に乗り出しました。

問 1　会話文中の空欄［ ア ］に入る人名と，［ イ ］に入る文との組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 101 ］

① **ア** ― ビスマルク　　**イ** ― 国民国家の形成に伴って確立された
② **ア** ― ビスマルク　　**イ** ― 植民地帝国が解体する中で確立された
③ **ア** ― メッテルニヒ　**イ** ― 国民国家の形成に伴って確立された
④ **ア** ― メッテルニヒ　**イ** ― 植民地帝国が解体する中で確立された

問 2　前の会話文を参考にしつつ，**資料 1 ・ 2** から読み取れる事柄や，その背景に関して述べた文**あ**～**え**について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 102 ］

資料 1　岩倉具視の意見

> にわかに士族を徴募すれば，兵制を破り，政府の信用にも関係する重大なことであるが，兵員不足となる場合にはやむを得ないことであるから，東京において，強壮な人員を徴集して，訓練して，出発させるのはどうであろうか。

資料 2　木戸孝允の意見

> 今日，士族やそのほか無用の兵を募ることはできない。薩摩を討っても，また別の小薩摩のような存在を生み出してしまう。

あ　岩倉具視は，士族を徴募することで，兵員を増強することを提案した。
い　木戸孝允は，士族を徴募することが，外国勢力の侵略を招くと主張した。
う　西南戦争では，反乱軍の主力も，徴兵制に基づく軍隊であった。
え　日本の徴兵制は，四民平等の原則に基づくものであった。

① **あ・う**　　② **あ・え**　　③ **い・う**　　④ **い・え**

問 3　北野さんは，植民地における軍隊と人々の関係に興味を持ち，フランス領西アフリカの住民に関する**資料 3** を見つけ，そのことについて**ノート**を作成した。**ノート**中の空欄［ ウ ］に入る語句と，［ エ ］に入る文との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 103 ］

資料 3　フランス本国の国会で 1916 年 9 月 29 日に成立した法律

> セネガルの 4 都市(注)の出身者及びその子孫は，兵役の義務に服するフランス市民であり，そうであり続ける。
>
> (注)　セネガルの 4 都市：サン＝ルイ，ゴレ，ルフィスク，ダカール。

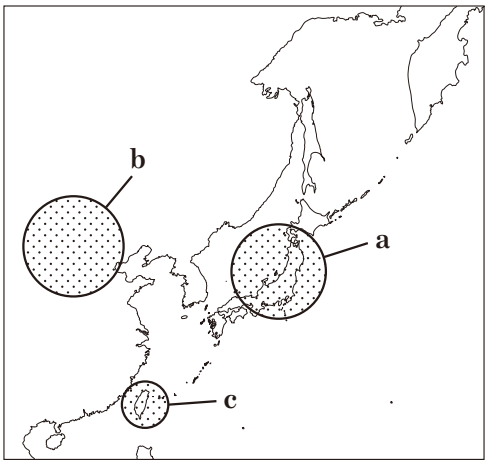
ノート

> ・フランス領西アフリカのセネガル 4 都市の住民は，19 世紀半ばにはフランス市民権が認められたが，20 世紀初頭には，市民権を持たないという司法判断が出された。
>
> ・20 世紀初頭のフランス本国では，兵役義務が課されていたのは市民権を持つ者のみであり，セネガル 4 都市の住民にとって，兵役義務を果たさなければ市民権を持てない状況が生じていた。その後，［ ウ ］が始まり，フランスは兵力不足に直面した。この時期に黒人として初めてフランス本国の国会議員となったセネガル人ブレーズ＝ディアニュは，国会で**資料 3** の法律を成立させた。このように，植民地の人々の中には，ディアニュのように，［ エ ］ようとした人もいた。

① ウ ― 清仏戦争　　エ ― 政治的権利の獲得のために戦争に協力し
② ウ ― 清仏戦争　　エ ― 動員に反発して宗主国に対する反乱を企て
③ ウ ― 第一次世界大戦　　エ ― 政治的権利の獲得のために戦争に協力し
④ ウ ― 第一次世界大戦　　エ ― 動員に反発して宗主国に対する反乱を企て

問 4 趙さんは，戦争の具体的な事例について考えるために，甲午農民戦争に着目した。甲午農民戦争の性格と，それと同様の性格を持つと考えられる他の事例と，その事例が起こった**地図**中のおおよその地域 **a**～**c** とについて，最も適当なものの組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 104

地　図



	甲午農民戦争の性格	他の事例	地　域
①	自国の軍隊のみで戦争が終結した	義和団戦争	**a**
②	自国の軍隊のみで戦争が終結した	戊辰戦争	**a**
③	自国の軍隊のみで戦争が終結した	戊辰戦争	**b**
④	外国軍の軍事介入があった	義和団戦争	**b**
⑤	外国軍の軍事介入があった	義和団戦争	**c**
⑥	外国軍の軍事介入があった	戊辰戦争	**c**

B　次の授業で，さらに，「現代の戦争が各地の社会にどのような影響をもたらしたのか」という問いを立て，探究した。

問 5　カーンさんは，第二次世界大戦における人々の経験について調べる過程で，ある風刺画に着目し，**パネル**を作成した。**パネル**中の空欄［ オ ］に入る文**あ**・**い**と，風刺画が描くチャーチルの考え**X**・**Y**とについて，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 105 ］

パネル

次の絵は，1943 年のアメリカ合衆国の黒人新聞に掲載された，「誰のための大西洋憲章か」と題した風刺画である。大西洋憲章とは，［ オ ］である。



（*Chicago Defender* 1943 年 4 月 17 日）

オ に入る文

あ　「五族協和」を掲げ，独立国を建国する趣旨を述べたもの

い　戦争目的と戦後世界の共通原則を示して，後に国際連合の礎となるもの

風刺画が描くチャーチルの考え

X　民族自決の原則を普遍的に適用することを，追求しようとしていた。

Y　アジア・アフリカの人々を植民地支配から解放することには，否定的だった。

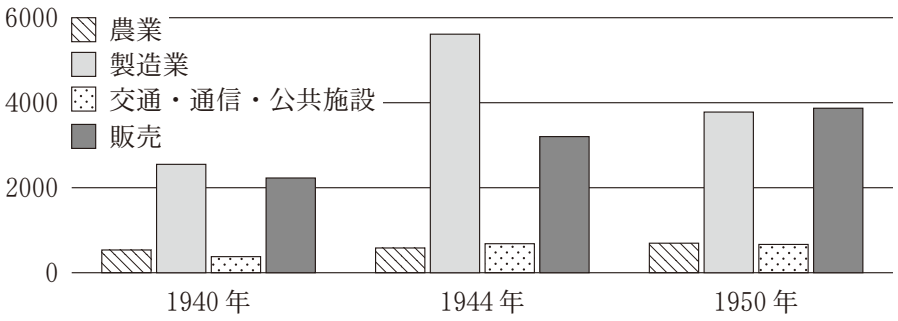
①　**あ** ― **X**
②　**あ** ― **Y**
③　**い** ― **X**
④　**い** ― **Y**

問 6　趙さんは，日本とアメリカ合衆国における女性の経験と戦争との関係に興味を持ち，女性の労働に関連する**資料 4** と**グラフ**を見つけた。**資料 4** と**グラフ**から読み取れる事柄や，その背景について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 106

資料 4　日本の労働力に関する日本政府の認識(1945 年 11 月)

> 戦争終結に伴い，1,324 万人の復員者が生じた。これに対しては，できる限り，復員者を前職へ復帰させる以外に，現在就職している女子などを家庭に復帰させ，その代わりに復員者を就職させる。そして，それらの方法によって，復員者の職業を確保するものと仮定しても，600 万人以上が職に就けないと予想される。
>
> (「復員者等の失業対策に関し各省に対する要望事項」)

グラフ　アメリカ合衆国における業種別女性労働者数(単位：1,000 人)



(Evan K. Rose, "The Rise and Fall of Female Labor Force Participation During World War II in the United States" より作成)

① **資料 4** が出された時点で，日本では，女性の国会議員が誕生していた。

② **資料 4** は，性別役割分業の解消を目指したものであった。

③ 1944 年のアメリカ合衆国で，製造業での女性労働者数が増えた背景には，総力戦の下での動員があると考えられる。

④ アメリカ合衆国では，総力戦の下での動員の結果，第二次世界大戦後に女性参政権が実現した。

問 7 北野さんは，国家の正規軍以外の主体も関わる戦争について事例を集め，**メモ**にまとめた。**メモⅠ～Ⅲ**に書かれている出来事について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 107

メモⅠ

インドシナ半島において，南北間の対立が激化し，アメリカ軍に支援された反共を掲げる南部の政権と，北部の政権と結び付いた反政府組織とが争った。

メモⅡ

フセイン政権崩壊後の国内秩序の維持のために，民間の軍事警備会社が，軍の基地の警備や武器・弾薬の輸送警護などの多様な軍事的業務を担った。

メモⅢ

国民党とともに抗日民族統一戦線を形成した共産党により，農村を拠点としたゲリラ戦が行われ，農民も様々な方法で参加した。

① メモⅠ — メモⅡ — メモⅢ
② メモⅠ — メモⅢ — メモⅡ
③ メモⅡ — メモⅠ — メモⅢ
④ メモⅡ — メモⅢ — メモⅠ
⑤ メモⅢ — メモⅠ — メモⅡ
⑥ メモⅢ — メモⅡ — メモⅠ

問 8 北野さんたちは，「現代の戦争が人々に与えた影響」という主題についてさらに探究するための課題**あ・い**を考えた。課題**あ・い**と，それぞれの課題を考察するための学習活動に用いる資料として最も適当なもの**W**～**Z**とについて，組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 108

主題を探究するための課題

あ 第４次中東戦争は，人々の暮らしにどのような影響を与えたのだろうか。

い アメリカ合衆国が「対テロ戦争」を宣言して実行した軍事攻撃は，どのような社会的混乱を引き起こしたのだろうか。

考察するための学習活動に用いる資料

W 第１次石油危機による国際的な原油価格の推移を示すグラフ。

X 鉄のカーテン演説が東西対立の深まりに与えた影響について述べた論文。

Y アフガニスタンで人道支援を行っていた，医師である中村哲の活動記録。

Z 広島で開催された第１回原水爆禁止世界大会に関する当時の新聞記事。

① **あ**―**W**　**い**―**Y**
② **あ**―**W**　**い**―**Z**
③ **あ**―**X**　**い**―**Y**
④ **あ**―**X**　**い**―**Z**

第 2 問　歴史総合の授業で，「歴史における旅とその役割」という主題を設定し，探究した。次の文章**A**～**C**を読み，後の問い(**問 1** ～ **8**)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点　25)

A　1 班は，授業に先立って，博物館で「宗教と旅」の展示室を見学している。

問 1　松田さんは，江戸時代の伊勢神宮参詣(伊勢参り)を描いた**図**と展示見学用の**ワークシート**，**旅程例**を見つけた。**図**と**ワークシート**，**旅程例**に関する文**あ**・**い**の正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

109

図



(文政十三庚寅春御影参道の粧二)

ワークシート

江戸時代には，伊勢神宮などの有名寺社への旅行が流行しました。**図**で描かれているのは，伊勢神宮参詣者です。この人たちはなぜ伊勢神宮を訪れたのでしょうか。

江戸時代には，一般的に女性の関所の通過は取り締まられていました。伊勢参りではどうだったのか，**図**から読み取ってみましょう。

また，江戸を出発した伊勢参りの**旅程例**から，伊勢参りの目的を考えてみましょう。

旅程例　（括弧内は江戸時代の国名，寺社名は現在のもの）

江戸 → 伊勢神宮（伊勢） → 住吉大社（摂津） → 金刀比羅宮（讃岐） → 厳島神社（安芸） → 北野天満宮（山城） → 善光寺（信濃） → 江戸

あ　**図**と**ワークシート**から，女性も伊勢参りができたことが分かる。

い　交通網の整備を背景に，伊勢神宮だけでなく広範囲の名所を訪れる者がいたことが**旅程例**から分かる。

① **あ** ― 正　**い** ― 正　　② **あ** ― 正　**い** ― 誤

③ **あ** ― 誤　**い** ― 正　　④ **あ** ― 誤　**い** ― 誤

問 2　松田さんは，「近代のメッカ巡礼」というセクションで，**解説文**を見つけた。**解説文**中の空欄［ア］・［イ］に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［110］

解説文

メッカ巡礼は，近代に入っても，ムスリムにとって重要な宗教儀礼の一つでした。例えば，18 世紀末の［ア］によってエジプトが混乱したため，メッカに巡礼団を派遣できなかったと，ある歴史家は嘆いています。

19 世紀になると，ヨーロッパの旅行会社が，インドからメッカ巡礼に赴く人々を相手とするパック旅行を始めます。しかし，高額だったこと，地理に不案内だったことなどにより，昔からメッカに拠点を置く巡礼旅行の仲介業者との競争に敗れてしまいました。西洋主導の近代化やグローバル化が，［イ］に阻まれる場合もあったことが分かります。

① **ア** ― イギリスによる保護国化　**イ** ― 伝統的な旅行手配の仕組み

② **ア** ― イギリスによる保護国化　**イ** ― 近代的な多国籍企業

③ **ア** ― フランス軍の侵攻　**イ** ― 伝統的な旅行手配の仕組み

④ **ア** ― フランス軍の侵攻　**イ** ― 近代的な多国籍企業

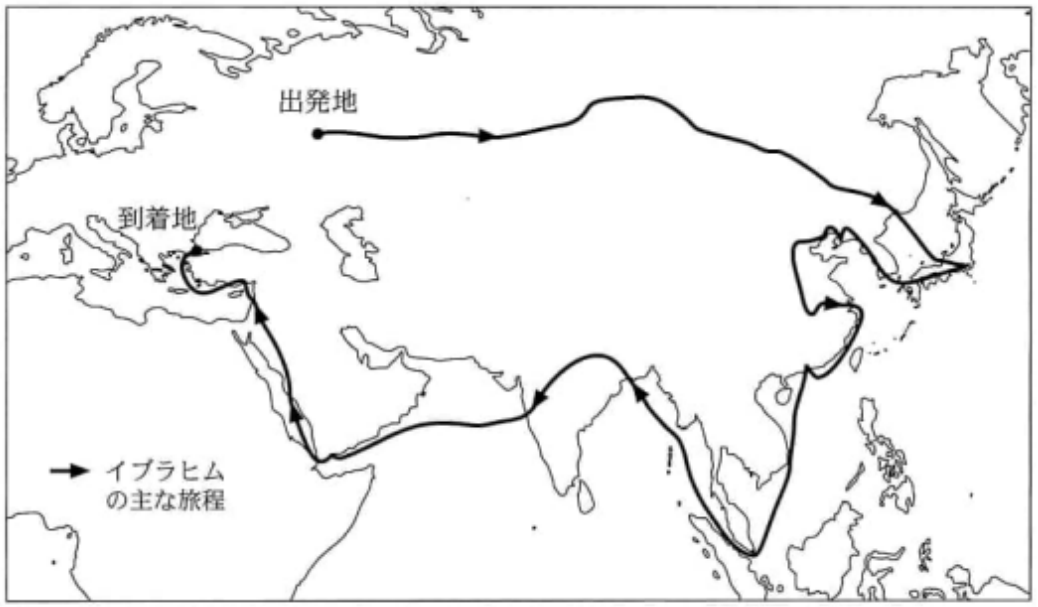
B　博物館での見学を終えたのち，２班は指導者の旅に着目し，先生と感想を述べ合っている。

樋　口：展示を見学して，宗教上の聖地に旅をすることにより，多くの人々が結び付いていたことが分かりました。

先　生：そうですね。他方で歴史上，特定の個人が旅をすることによって，地域や人々を結び付けようとする動きもあります。

馬　島：私は，20 世紀初頭にユーラシア世界を旅したイスラーム指導者，イブラヒムに興味を持ち，経路を**地図**にしてみました。イブラヒムは，ムスリムが連帯することで列強に対抗できると考え，ユーラシア各地に赴きました。

地　図



（イブラヒム，小松香織・小松久男訳『ジャポンヤ』より作成）

樋　口：私は，チベットの宗教的，政治的指導者である<u>ⓐダライ＝ラマ 13 世が，1904 年から 1913 年にかけて，各地を移動していること</u>に着目しました。この旅は，イギリス，ロシア，清など，大国の思惑に翻弄されるものでした。しかし，チベットに戻ったダライ＝ラマ 13 世は，1913 年に，チベット仏教信仰を共有するモンゴルと相互に独立を確認する条約を結び，のちに独立宣言と称される布告を出すに至ります。旅を通じて，ダライ＝ラマ 13 世はチベットの独立の必要性を見いだしたのではないでしょうか。

先　生：指導者や<u>ⓑ王族・皇族の旅は，その時の外交関係と関連していることがあります</u>。それを示す歴史的事例を考えてみましょう。

問 3　**都市Ⅰ～Ⅲ**は，イブラヒムが 20 世紀初頭に訪れた都市である。**地図**を参考にしつつ，イブラヒムが通過した順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 111

都市Ⅰ ― スルタンの専制政治を倒す立憲革命が起こった都市
都市Ⅱ ― 伊藤博文が安重根に暗殺された都市
都市Ⅲ ― 孫文らが中国同盟会を結成した都市

① **都市Ⅰ ― 都市Ⅱ ― 都市Ⅲ**
② **都市Ⅰ ― 都市Ⅲ ― 都市Ⅱ**
③ **都市Ⅱ ― 都市Ⅰ ― 都市Ⅲ**
④ **都市Ⅱ ― 都市Ⅲ ― 都市Ⅰ**
⑤ **都市Ⅲ ― 都市Ⅰ ― 都市Ⅱ**
⑥ **都市Ⅲ ― 都市Ⅱ ― 都市Ⅰ**

問 4 下線部ⓐに関連して，樋口さんは，ダライ＝ラマ 13 世の旅を**ノート 1** にまとめた。**ノート 1** 中の空欄 **ウ** に入る語句**あ・い**と，**ノート 1** のように，イギリスがダライ＝ラマ 13 世の要求を拒否する根拠となった資料**X**・**Y**について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

112

ノート 1

- 1904 年，英領インド軍がチベットに侵入すると，ダライ＝ラマ 13 世はモンゴルに逃れ，ロシアに援助を求めるが，実現しなかった。
- 1908 年，北京で光緒帝と会見したが，冷遇された。
- 1909 年，本拠地のラサに戻った。
- 1910 年，ラサに清軍が迫り，英領インドに逃れた。ダライ＝ラマ 13 世は，イギリスに支援を求めたが，イギリスはロシアとの取決めに基づき，要求を拒否した。
- 1913 年，**ウ** を経て当時の中国の軍隊も撤退したため，ラサに帰還した。

ウ に入る語句

あ 辛亥革命

い 西安事件

資 料

X 「香港一島をイギリスに与え，以後永きにわたってここを主管し，任意に制度や法をつくり，治めていくことを，皇帝はお許しになった。」

Y 「両国は，イランにおけるそれぞれの利益に関するあらゆる対立の動機を回避することを希求して，以下の事項について合意した。」

① **あ** ― **X**　　② **あ** ― **Y**

③ **い** ― **X**　　④ **い** ― **Y**

問 5 下線部ⓑに関連して，馬島さんは，王族・皇族による訪問の事例を見つけた。事例**あ**～**え**を比較した文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 113

あ 英仏協商締結の前年に，イギリス国王によるフランス訪問があった。

い 第3次日韓協約締結の年に，日本の皇太子による韓国訪問があった。

う サライェヴォ事件のきっかけとなる，オーストリアの帝位継承者によるボスニア・ヘルツェゴヴィナ訪問があった。

え 四カ国条約締結の前年に，日本の皇太子によるイギリス訪問があった。

① **あ・う**の事例は，訪問した側の国と訪問先とが，ドイツを抑えるために協調したという点で共通している。

② **あ・え**の事例は，訪問した側の国と訪問先とが，王族・皇族の訪問の時点で同盟を結んでいたという点で共通している。

③ **い・う**の事例は，訪問先で，訪問した側の国への反発が起こっていたという点で共通している。

④ **い・え**の事例は，両大戦間期の出来事であったという点で共通している。

C　授業後，3班は，移動の自由化に着目して，現代社会における旅について調べた。

問 6　3班は，日本では戦後，海外旅行には制限があったが，1964年に自由化されたことを知り，日本人の海外旅行に関する**表**を作成した。**表**から読み取れることや，その背景に関して述べた文**あ**～**え**について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 114

表　1964年以降の日本人海外渡航者の渡航目的の割合（数値は概数）

	渡航者総数	観　光	商　用	その他
1965年	163,000人	29％	48％	23％
1971年	961,000人	66％	26％	8％
1977年	3,151,000人	84％	14％	2％

（内閣総理大臣官房審議室編『観光行政百年と観光政策審議会三十年の歩み』より作成）

あ　海外旅行自由化の翌年，観光目的の渡航者数は10万人を超えている。
い　ドル＝ショックの後，商用目的での渡航者数は増えている。
う　**表**の時期に，日本は神武景気を迎えた。
え　**表**の時期に，日本の国民総生産は，資本主義国の中で第2位となった。

① **あ・う**　② **あ・え**　③ **い・う**　④ **い・え**

問 7 次に 3 班は，1980 年代以降の旅行に関する動きについて**ノート 2** を作成した。**ノート 2** から読み取れることや，その背景について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 115

ノート 2

・プラザ合意により為替レートの調整が先進国間で取り決められ，日本人の海外渡航に影響を与えた。
・ヨーロッパでは 1985 年に，ヨーロッパ共同体(EC)に加盟するいくつかの国が，域内移動に関して，パスポート管理を廃止するシェンゲン協定に調印した。この協定は，その後 1995 年に入って実施された。

① プラザ合意以降，円安が進んだ。
② ヨーロッパ連合(EU)の成立と同時に，単一通貨ユーロが導入された。
③ シェンゲン協定参加国の域内では，自由な国境移動が可能になった。
④ シェンゲン協定の実施後，東西ドイツが統一された。

問 8　班活動のまとめとして，これまで調べた旅を比較し，**メモ**を作成した。**メモ 1・2** の正誤について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 116

メモ 1

1 班と 3 班の事例から，それぞれの時代における地域内の移動や国境を越えた移動が徐々に衰退していく状況が読み取れる。

メモ 2

2 班のイブラヒムやダライ＝ラマ 13 世の事例からは，彼らが宗教的に共通する諸民族と連携することで大国に対抗しようとしたことが読み取れる。

① **メモ 1** のみ正しい。
② **メモ 2** のみ正しい。
③ 二つとも正しい。
④ 二つとも誤っている。